

- 問1 群馬県の綿貫観音山古墳から出土した資料などに見られる、灰色で硬く焼き締められた土器の製作上の特徴について述べた文として、最も適切なものはどれか。 (2021年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 日本列島で古くから用いられてきた伝統的な技法で、野外で比較的低い温度で焼かれた | 2. 中国大陸の青銅器の影響を強く受け、表面に複雑な幾何学文様を彫り込んで焼かれた | 3. 朝鮮半島から伝わった技術を使い、穴窯の中で酸素を制限しながら高温で焼かれた | 4. 稲作が普及し始めた時期に、表面に縄目の文様をつけてから乾燥させて焼かれた |
|--|---|--|---|
- 問2 「大陸の王朝の力を利用して国づくりをはじめた」とされる5世紀の倭の王について、当時の国際情勢と外交方針を述べた文として正しいものはどれですか。 (2017年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|---|---|---|
| 1. 足利義満が明の皇帝から「日本国王」の称号を得て、勘合貿易を開始した | 2. 元（モンゴル帝国）の侵攻に備えるため、高麗と協力して大陸の情報を収集した | 3. 聖徳太子が遣隋使を派遣し、中国の皇帝と対等な外交関係を築くことを目指した | 4. 倭の王は南朝へ朝貢し、朝鮮半島南部における立場を有利にするための承認を求めた |
|--------------------------------------|---|---|---|
- 問3 2019年に「百舌鳥・古市古墳群」の一部として世界文化遺産に登録された大仙陵古墳（仁徳天皇陵古墳）について、その形状と発見された遺物の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2020年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------|--------------------------|----------------------------|-------------------------------|
| 1. 形状：方墳、遺物：死者の身分を示すための仏像 | 2. 形状：円墳、遺物：青銅で作られた大型の銅鐸 | 3. 形状：前方後円墳、遺物：人や動物の形をした埴輪 | 4. 形状：前方後円墳、遺物：大陸から伝わった陶磁器の破片 |
|---------------------------|--------------------------|----------------------------|-------------------------------|
- 問4 世界文化遺産に登録された百舌鳥・古市古墳群には、5世紀頃に造られた日本最大の前方後円墳である大仙古墳が含まれている。このような巨大な古墳が築かれた時代の外交の特徴として、適切なものはどれか。 (2020年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|---------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 中国の南朝へ使者を送り、自らの地位を認めてもらう活動を行った。 | 2. 中国の北朝へ使者を送り、仏教を公式に伝えるよう要請した。 | 3. 元（モンゴル）からの服属要求を拒否し、九州沿岸の防備を固めた。 | 4. 唐へ遣唐使を派遣し、律令に基づく中央集権的な国家体制を導入した。 |
|------------------------------------|---------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|
- 問5 埼玉県の稲荷山古墳から出土した鉄剣には、当時のヤマト政権（ヤマト王権）の支配者の呼び名が刻まれています。この鉄剣の銘文に見られる、当時の最高権力者の称号として正しいものを選びなさい。 (2016年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 関白 | 2. 皇帝 | 3. 天皇 | 4. 大王 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問6 5世紀の日本において、埼玉県稲荷山古墳や熊本県江田船山古墳から出土した鉄剣・鉄刀に銘文として刻まれていた大王の名として正しいものを、次の選択肢の中から1つ選びなさい。 (2025年 宮城県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|------------|----------|--------|
| 1. 聖徳太子 | 2. ワカタケル大王 | 3. 中大兄皇子 | 4. 卑弥呼 |
|---------|------------|----------|--------|
- 問7 大仙古墳に代表されるような、非常に広大な面積を占める巨大な前方後円墳が、5世紀ごろの近畿地方を中心に築かれた歴史的な背景を述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 仏教が伝来したことで、死者を供養するための大規模な寺院建築の技術が導入されたため。 | 2. 中国の律令制度を模範とした国づくりが始まり、天皇の墓を規格化することが定められたため。 | 3. ヤマト政権の首長である大王が、自らの強大な権力や経済力を国内外に誇示するため。 | 4. 朝鮮半島からの渡来人が、大陸での一般的な墓の形式である前方後円墳の技術を伝えたため。 |
|--|--|--|---|
- 問8 5世紀から6世紀にかけて、日本列島には大陸から多くの人々が移り住みました。この時期の遺跡である前方後円墳などからは、円筒埴輪や人物埴輪とともに、高温の窯で焼かれた硬くて灰色をした土器が出土しています。この土器の製作技術を日本に伝え、さらに文字や儒教、仏教といった高度な文化をもたらした人々を何と呼びますか。 (2015年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|--------|--------|-------|
| 1. 語部 | 2. 渡来人 | 3. 遣隋使 | 4. 防人 |
|-------|--------|--------|-------|
- 問9 千葉県最大級の前方後円墳である内裏塚古墳が築造された古墳時代の中期には、大陸との交流を通じて新しい製作技術が導入されました。この時期に生産が始まった「須恵器」の特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 表面に魔除けの意味を持つ縄目の文様をつけた、厚手で黒褐色の土器 | 2. 青銅を原料として鑄造され、祭祀の道具として用いられた釣鐘型の道具 | 3. 弥生土器の流れを汲み、野焼きによって比較的低温で焼かれた赤褐色の土器 | 4. 山の斜面などに作られた窯を使い、高温で蒸し焼きにした灰色の土器 |
|------------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|
- 問10 5世紀後半の大和政権において、最高権力者が名乗った称号は何ですか。埼玉県の稲荷山古墳から出土した金錯銘鉄剣に、「獲加多支鹵」という人名に続けて刻まれている名称を答えなさい。 (2019年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 将軍 | 2. 執権 | 3. 天皇 | 4. 大王 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問11 熊本県の江田船山古墳から出土した鉄刀と、埼玉県の稲荷山古墳から出土した鉄剣には、いずれも「ワカタケル大王」の名が刻まれていました。この事実から推測される、5世紀ごろの大和政権の勢力範囲に関する説明として、最も適切なものを選びなさい。 (2014年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 大和政権の勢力は、東北地方から九州南部に至る日本列島のほぼ全域を支配していた。 | 2. 大和政権の勢力は、九州北部から関東地方南部におよぶ広い範囲に広がっていた。 | 3. 大和政権の勢力は、大陸の影響を強く受けていた九州地方のみに限定されていた。 | 4. 大和政権の勢力は、近畿地方とその周辺の非常に狭い範囲に限定されていた。 |
|--|--|--|--|
- 問12 古墳時代、朝鮮半島から伝えられた技術を用いて作られた土器があります。斜面を利用した穴窯（あながま）の中で、1000度以上の高温で焼き締められた、灰色で硬質な特徴を持つ土器の名称を答えなさい。 (2021年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|--------|---------|
| 1. 土師器 | 2. 弥生土器 | 3. 須恵器 | 4. 縄文土器 |
|--------|---------|--------|---------|
- 問13 5世紀頃、大和政権の王（倭の五王）が中国の南朝へ繰り返し使者を送った主な目的として、最も適切な説明はどれか。 (2020年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 隋に対して対等な立場での外交を求め、小野妹子を派遣して中国の進んだ律令制度を学ぶため。 | 2. 朝鮮半島南部における軍事的な指揮権を認めさせ、鉄資源の確保などの面で他国より優位に立つため。 | 3. 唐の勢力拡大に対抗するため、朝鮮半島の百済や新羅と結んで軍事同盟を強化するため。 | 4. 中国の北朝から公式に仏教を取り入れることで、鎮護国家の思想に基づいた国づくりを行うため。 |
|--|---|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 朝鮮半島から伝わった技術を使い、穴窯の中で酸素を制限しながら高温で焼かれた	群馬県の綿貫観音山古墳から出土したような灰色の硬質な土器は須恵器と呼ばれます。これは5世紀頃に朝鮮半島から伝来した技術で、斜面に作った穴窯を使用することで、野焼きでは不可能な1000度以上の高温状態を保って焼成されました。この製法によって粘土が焼き締まり、金属のような硬さを持つ土器が誕生しました。
問2	答え 4 倭の王は南朝へ朝貢し、朝鮮半島南部における立場を有利にするための承認を求めた	5世紀の倭の王たちは、中国の南朝に使いを送り、皇帝から「安東大將軍」などの称号を授かりました。これは中国の国際秩序の中に組み込まれることで、朝鮮半島南部での自国の影響力を正當化し、他の諸国との交渉を有利に進める狙いがありました。他の選択肢は、飛鳥時代、鎌倉時代、室町時代の出来事です。
問3	答え 3 形状：前方後円墳、遺物：人や動物の形をした埴輪	大仙陵古墳は、円形と方形を組み合わせた日本最大の前方向後円墳です。この古墳からは、円筒埴輪だけでなく、当時の衣服や武具の様子を知る手がかりとなる家・人間・動物などをかたどった「形象埴輪」が発見されています。銅鐸は主に弥生時代の祭祀に使われたものであり、仏像は後の飛鳥時代以降に本格的に伝来したものであるため、古墳時代の特徴としては埴輪が最も適切です。
問4	答え 1 中国の南朝へ使者を送り、自らの地位を認めもらう活動を行った。	大仙古墳に代表される巨大な前方後円墳が造られた5世紀は、大和政権の王（倭王）が自らの権威を内外に示すために、中国の南朝へ朝貢した時期と重なります。この時期の外交は、朝鮮半島での軍事的な立場を強化し、鉄器の材料となる鉄資源の供給源を確保することが大きな目的の一つでした。
問5	答え 4 大王	古墳時代のヤマト政権において、最高権力者は「大王（おおきみ）」と呼ばれていました。埼玉県の稲荷山古墳から出土した鉄剣には「ワカタケル大王」の名が刻まれており、この称号が当時の支配者を表していたことを示しています。「天皇」という称号が公式に使われ始めたのは、7世紀後半の天武天皇・持統天皇の時代からであると考えられています。
問6	答え 2 ワカタケル大王	埼玉県の稲荷山古墳や熊本県の江田船山古墳からは、「ワカタケル大王（獲加多支鹵大王）」の名が刻まれた鉄剣や鉄刀が出土しました。これにより、5世紀後半にはヤマト王権の支配が関東から九州におよんでいたことがわかります。
問7	答え 3 ヤマト政権の首長である大王が、自らの強大な権力や経済力を国内外に誇示するため。	古墳の大きさは、そこに葬られた人物の権力や、動員できた労働力の規模を象徴しています。三重の塚を持つほど巨大な大仙古墳のような古墳が造られたことは、ヤマト政権の首長（大王）が近畿地方の有力豪族をまとめ上げ、強力な支配体制を築いていたことを裏付けています。なお、仏教伝来や律令制度の導入は、これよりも後の時代のことです。
問8	答え 2 渡来人	5世紀から6世紀の古墳時代、朝鮮半島からの移住者である渡来人は、それまでの日本になかった高度な技術や文化を伝えました。土器においては、従来の土師器（はじき）とは異なる、穴窯を用いて1000度以上の高温で焼成する「須恵器（すえき）」の技術をもたらしました。また、漢字を用いた記録や、道徳的な教えである儒教、さらには6世紀に百済から伝えられた仏教など、その後の日本の国家形成に不可欠な知識を普及させました。
問9	答え 4 山の斜面などに作られた窯を使い、高温で蒸し焼きにした灰色の土器	須恵器は、朝鮮半島から伝わった「穴窯（あながま）」という設備を使い、酸素が少ない状態で高温調理（蒸し焼き）にするため、特有の灰色になります。これに対し、同時に使われていた土師器（はじき）は、古墳時代以前からの伝統的な手法である「野焼き」で作られていたため、赤褐色をしています。
問10	答え 4 大王	5世紀の大和政権の盟主は「大王（おおきみ）」と呼ばれていました。埼玉県の稲荷山古墳から出土した鉄剣には、雄略天皇にあたるとされる「獲加多支鹵（ワカタケル）」の名とともにこの称号が刻まれており、当時の政治体制を示す貴重な史料となっています。天皇という称号が使われ始めるのは、さらに後の7世紀後半（飛鳥時代）になってからです。
問11	答え 2 大和政権の勢力は、九州北部から関東地方南部におよぶ広い範囲に広がっていた。	九州（熊本県）と関東（埼玉県）という、当時の交通手段では非常に遠く離れた2つの地点から同じ大王の名を記した刀剣が出土したことは、大和政権の支配力がその両地域にまで及んでいたことを客観的に証明するものです。一方で、この時代の支配が東北地方にまで及んでいたことを示す証拠は見つかっていないため、範囲の特定には注意が必要です。
問12	答え 3 須恵器	古墳時代には朝鮮半島から渡来人によって新しい製作技術が伝えられました。それまでの日本列島で伝統的につくられてきた、野焼きで赤褐色の土師器に対し、須恵器は密閉された窯を用いて高温で焼成されるため、灰色で非常に硬い仕上がりになります。この技術革新により、より実用的で堅牢な容器の生産が可能になりました。
問13	答え 2 朝鮮半島南部における軍事的な指揮権を認めさせ、鉄資源の確保などの面で他国より優位に立つため。	5世紀の大和政権は、国内での支配力を強めるとともに、大陸から伝来する鉄資源を安定して確保しようとしていました。そのために中国の南朝（宋など）へ朝貢を行い、朝鮮半島南部における軍事的な指揮権や政治的な地位を正式に認めさせることで、周辺諸国に対して有利な立場を得ようとした背景があります。

- 問1 古墳時代において、特定の地域に限定されず、全国各地で大規模な前方後円墳が築造されたという事実は、当時の政治状況についてどのようなことを示していますか。最も適切な説明を選びなさい。 (2018年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 仏教の影響が全国に及び、共通の儀礼に基づいた埋葬方法が庶民にまで普及したこと。 | 2. 大和政権を中心とした政治的な連合や服属関係が、各地の豪族との間に結ばれていたこと。 | 3. 狩猟・採集中心の社会から、稲作を中心とする平等な共同体へと社会が変化したこと。 | 4. 各地の豪族が、大陸から伝わった最新の墓制を競い合うようにして独自に導入したこと。 |
|--|--|--|---|
- 問2 5世紀ごろに造られた大仙古墳のような巨大な前方後円墳について、このような大規模な墳墓が築かれた歴史的な背景として最も適切な説明はどれか。 (2020年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 仏教の伝来とともに、死者を弔うために巨大な寺院を建てる習慣が広まったため。 | 2. ヤマト政権の大王が、膨大な労働力を動員できるほどの強大な権力を持っていたことを示すため。 | 3. 各地域の小国が、他国からの侵略を防ぐための軍事的な要塞として築いたため。 | 4. 大陸から伝わった稲作の技術を普及させるために、神を祀る祭祀場を各地に作ったため。 |
|--|---|---|---|
- 問3 古墳時代、朝鮮半島から日本列島に移り住んだ人々によって、新たな土器の製作技術が伝えられました。専用の窯（かま）を用いて高温で焼成されることで、それまでの土器に比べて非常に硬く、色が灰色をしていることが特徴の土器を何と呼びますか。 (2018年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|--------|---------|
| 1. 縄文土器 | 2. 土師器 | 3. 須恵器 | 4. 弥生土器 |
|---------|--------|--------|---------|
- 問4 4世紀から7世紀頃にかけて、朝鮮半島や中国大陸から日本列島へ移住し、漢字や儒教、仏教などの大陸文化や、優れた製作技術を伝えた人々を何と呼びますか。 (2021年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|-------|--------|
| 1. 遣隋使 | 2. 御家人 | 3. 防人 | 4. 渡来人 |
|--------|--------|-------|--------|
- 問5 徳島県と香川県を結ぶ道路の建設予定地周辺など、四国地方においても複数の「前方後円墳」を含む古墳群が確認されています。このように、近畿地方を拠点とする勢力が採用した墓の形式が全国各地へ広まった事実は、当時の政治状況についてどのようなことを示していますか。 (2023年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|--|--|--|
| 1. 多賀城を中心とした東北地方の勢力が、全国を統一する力を持っていたこと | 2. 近畿地方を拠点とする大和政権の政治的な影響力が、地方へと及んでいたこと | 3. 遣唐使によってもたらされた国風文化が、地方の豪族の間で流行していたこと | 4. 仏教の伝来により、古墳に代わって大規模な寺院が地方に建立され始めたこと |
|---------------------------------------|--|--|--|
- 問6 古墳時代に、大山古墳（仁徳天皇陵）のような巨大な前方後円墳が築造された歴史的な背景や目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 大和政権（ヤマト王権）の王が、自らの強大な権威や動員できる労働力の大きさを各地の豪族に誇示するため。 | 2. 大陸から伝来した仏教の教えに基づき、故人を盛大に供養することで国家の安寧を祈願するため。 | 3. 大規模な稲作の普及により余った土地を、洪水から守るための避難場所として整備するため。 | 4. 海外からの侵略を監視し、防衛するための軍事的な物見櫓や要塞として機能させるため。 |
|---|---|---|---|
- 問7 4世紀から7世紀頃、大陸から日本列島へ移住した人々が大和政権の成長や社会の発展に与えた影響として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 遣隋使や遣唐使として大陸に派遣され、最新の政治制度を学んで帰国した後に律令国家の建設を主導した。 | 2. 九州沿岸の警備にあたる防人として任命され、大陸からの侵攻を防ぐ軍事的な役割を専門に担った。 | 3. 須恵器の製作技術や漢字、仏教などを伝え、政権の組織づくりや文化の発展に大きく貢献した。 | 4. 稲作の技術を初めて日本に伝え、狩猟や採集を中心とした社会から定住社会への転換を促した。 |
|---|--|--|--|
- 問8 5世紀の日本において、埼玉県稲荷山古墳や熊本県江田船山古墳から出土した鉄剣・鉄刀に銘文として刻まれていた大王の名として正しいものを、次の選択肢の中から1つ選びなさい。 (2025年 宮崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|----------|------------|
| 1. 卑弥呼 | 2. 聖徳太子 | 3. 中大兄皇子 | 4. ワカタケル大王 |
|--------|---------|----------|------------|
- 問9 大阪府堺市に位置する大山古墳（仁徳天皇陵）について、その特徴を地形図から読み取った場合の説明として最も適切なものはどれですか。 (2023年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 円形の墳丘が等高線によって示され、周囲には濠がなく、標高の高い山地の中に独立して築造されている。 | 2. 円形の後円部と方形の前方を組み合わせた鍵穴のような形状の墳丘が、三重の濠に囲まれて配置されている。 | 3. 正方形の墳丘が三重の石垣によって囲まれ、その中心部に巨大な石室が露出している。 | 4. 長方形の墳丘が二重の濠に囲まれ、周囲に倍塚と呼ばれる小規模な円墳が直線状に並んでいる。 |
|---|--|--|--|
- 問10 古墳時代の前期において、同じ鋳型（いがた）で作られた「三角縁神獣鏡」などの銅鏡が、遠く離れた各地の有力者の古墳から共通して発見されています。このような現象は、当時の日本（倭）におけるどのような政治状況を物語っていますか。 (2016年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 大陸の王朝が日本全土を直接統治しており、各地の役所に同じ規格の鏡を配布した状況 | 2. 日本各地の村々が独自に大陸と貿易を行い、流行していた同じデザインの鏡を輸入した状況 | 3. 大和政権が、支配下に入った各地の有力者に対して支配や同盟の証として鏡を配付した状況 | 4. 仏教が伝来したことで、全国の有力者が同じ教義を信じ、同じ意匠の鏡を自ら作成した状況 |
|--|--|--|--|
- 問11 近畿地方を中心に現れた、一方が四角形で他方が円形をした鍵穴のような形の古墳が、時代とともに全国各地（東北南部から九州）へと広がっていった事実は、当時の政治状況についてどのようなことを示していますか。 (2021年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|--|--------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 仏教の教えが各地に広まり、新しい埋葬の形式が全国で統一されたこと | 2. 大和政権（ヤマト王権）の勢力や政治的な影響力が、地方にまで拡大したこと | 3. 稲作の技術が全国に普及し、各地の農民が協力して巨大な墓を造ったこと | 4. 大陸から渡来した人々が、日本各地に共通の墓制を直接伝えたこと |
|-------------------------------------|--|--------------------------------------|-----------------------------------|
- 問12 4世紀から7世紀頃、朝鮮半島や中国大陸から日本列島へ移り住み、須恵器の製作技術や漢字、仏教などを伝えた人々を何と呼ぶか。 (2023年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|-------|
| 1. 渡来人 | 2. 御家人 | 3. 遣隋使 | 4. 防人 |
|--------|--------|--------|-------|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 大和政権を中心とした政治的な連合や服属関係が、各地の豪族との間に結ばれていたこと。	前方後円墳という日本独自の特定の形式が列島の広い範囲に普及したことは、それらの地域が「大和政権」を中心とする政治秩序の中に組み込まれていたことを意味します。共通の墓の形を採用することは、大和の王との結びつきを周囲に示す重要な手段でもありました。
問2	答え 2 ヤマト政権の大王が、膨大な労働力を動員できるほどの強大な権力を持っていたことを示すため。	大仙古墳のような巨大な前方後円墳の建設には、延べ数百万人とも言われる膨大な労働力と長い年月が必要でした。これほど大規模な墓を築くことができた事実は、被葬者である大王が近畿地方を中心として、広範囲にわたる民衆や地方の豪族を統制し、支配下に置いていたことを証明しています。
問3	答え 3 須恵器	古墳時代、朝鮮半島から移住した渡来人によって、穴窯（あながま）を用いた最新の作陶技術がもたらされました。従来の土師器（はじき）が野焼きで焼かれる赤褐色の土器であったのに対し、須恵器は1000度以上の高温で焼成されるため、実用性が高い硬質な土器として普及しました。
問4	答え 4 渡来人	朝鮮半島での動乱などを背景に、優れた技術や知識を持つ人々が日本列島へ渡ってきました。彼らは大和政権に仕え、文字（漢字）の記録や外交、土木技術、金属工芸などの分野で重要な役割を果たし、日本の古代国家形成に大きな影響を与えました。
問5	答え 2 近畿地方を拠点とする大和政権の政治的な影響力が、地方へと及んでいたこと	古墳時代、近畿地方に拠点を置いた大和政権（ヤマト王権）は、各地の豪族と政治的な同盟を結んだり、支配下に置いたりすることで勢力を拡大しました。前方後円墳という特定の形式の古墳が各地に築かれたことは、その地域の豪族が大和政権の支配体制や序列に組み込まれたことを象徴しています。多賀城は奈良時代の東北経営の拠点であり、国風文化は平安時代の中期に発達した文化であるため、古墳時代の出来事とは異なります。
問6	答え 1 大和政権（ヤマト王権）の王が、自らの強大な権威や動員できる労働力の大きさを各地の豪族に誇示するため。	古墳時代において、巨大な前方後円墳を築くには膨大な年月と膨大な人数の労働力が必要でした。このような大規模な土木工事を行うことができた事実は、その被葬者が広範囲に及ぶ支配権と財力を持っていたことを象徴しています。また、前方後円墳という特定の形式が日本各地に広がったことは、大和政権（ヤマト王権）を中心とした政治的な連合や身分秩序が各地の豪族との間に形成されていたことを示しています。
問7	答え 3 須恵器の製作技術や漢字、仏教などを伝え、政権の組織づくりや文化の発展に大きく貢献した。	移住した人々は、須恵器の製作、金属器の加工、養蚕、織物といった実用的な技術だけでなく、漢字や仏教、儒教といった学問や宗教も伝えました。これらの知識や技術は、大和政権が国内を統治するための公文書作成や、国家としての権威を高めるための寺院建築などに活用され、古代日本の国家形成において不可欠な役割を果たしました。なお、稲作の伝来は弥生時代、防人の制度は7世紀後半の白村江の戦い以降に本格化したものです。
問8	答え 4 ワカタケル大王	埼玉県の稲荷山古墳や熊本県の江田船山古墳からは、「ワカタケル大王（獲加多支鹵大王）」の名が刻まれた鉄剣や鉄刀が出土しました。これにより、5世紀後半にはヤマト王権の支配が関東から九州におよんでいたことがわかります。
問9	答え 2 円形の後円部と方形の前方部を組み合わせた鍵穴のような形状の墳丘が、三重の濠に囲まれて配置されている。	古墳時代中期を代表する大山古墳（仁徳天皇陵）は、前方後円墳という日本独自の形式を持つ巨大な古墳です。地形図上では等高線によってその独特な「鍵穴型」が描かれ、さらに墳丘を保護するように三重の濠が巡らされていることが確認できます。また、周囲には「倍塚（ばいづか）」と呼ばれる、被葬者の親族や家臣を葬ったとされる小規模な古墳が点在しているのも、この地域の歴史的景観の大きな特徴です。
問10	答え 3 大和政権が、支配下に入った各地の有力者に対して支配や同盟の証として鏡を配付した状況	同じ型から作られた鏡が広範囲で見つかることは、中央の大和政権が中国から入手、あるいは国内で製造した鏡を、自らの権威を認めた地方の有力者に分け与えたことを示唆しています。これにより、大和政権を中心とした政治的な連合や支配体制が、近畿地方から遠隔地へと広がっていった背景を読み取ることができます。
問11	答え 2 大和政権（ヤマト王権）の勢力や政治的な影響力が、地方にまで拡大したこと	各地の有力者が大和政権と同じ形式の古墳を築くことは、その有力者が大和政権と政治的な結びつき（同盟や服属）を持っていたことを意味します。このため、前方後円墳の分布範囲を調査することで、当時の大和政権の影響力がどこまで及んでいたかを推測することができます。
問12	答え 1 渡来人	大陸での争乱を避けるために日本に移り住んだ、あるいは大和政権に招かれた人々を指します。彼らは土木、養蚕、機織り、金属加工などの高度な技術のほか、漢字や仏教、儒教といった思想・文化をもたらし、日本が国家としての形を整える上で重要な役割を果たしました。

問1 日本最大の前方後円墳である大仙古墳など、古墳時代の遺跡や出土品に関する説明として誤っているものを、次のうちから1つ選びなさい。

(2026年 徳島県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|---|
| 1. 古墳の周囲や墳丘には、素焼きの土器である埴輪が並べられた。 | 2. 大仙古墳のように円形と方形を組み合わせた形状の古墳が造られた。 | 3. 豪族の権威を示すための副葬品として、銅鏡や鉄剣などが納められた。 | 4. 女性の姿などをかたどった土偶が、魔よけや豊かな収穫を祈るために作られた。 |
|----------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|---|

問2 古墳時代に、大山古墳（仁徳天皇陵）のような巨大な前方後円墳が築造された歴史的な背景や目的として、最も適切な説明はどれですか。

(2023年 神奈川県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 大和政権（ヤマト王権）の王が、自らの強大な権威や動員できる労働力の大きさを各地の豪族に誇示するため。 | 2. 海外からの侵略を監視し、防衛するための軍事的な物見櫓や要塞として機能させるため。 | 3. 大規模な稲作の普及により余った土地を、洪水から守るための避難場所として整備するため。 | 4. 大陸から伝来した仏教の教えに基づき、故人を盛大に供養することで国家の安寧を祈願するため。 |
|---|---|---|---|

問3 5世紀後半、現在の埼玉県にある稲荷山古墳と熊本県にある江田船山古墳から、金象嵌（きんぞうがん）で文字が刻まれた鉄剣や鉄刀が出土しました。これらの出土品に共通して刻まれていた人物の名と、そこから推測される当時のヤマト政権（大和政権）の状況として適切なものはどれですか。

(2020年 和歌山県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 卑弥呼の名が刻まれており、邪馬台国の勢力が西日本から東日本一帯に広がっていたことがわかる。 | 2. 中大兄皇子の名が刻まれており、律令に基づいた地方支配が関東や九州まで及んでいたことがわかる。 | 3. 聖徳太子の名が刻まれており、天皇を中心とした中央集権体制が全国で完成していたことがわかる。 | 4. ワカタケル大王の名が刻まれており、ヤマト政権の勢力が九州北部から関東地方まで及んでいたことがわかる。 |
|--|---|--|---|

問4 4世紀から7世紀頃、大陸から日本列島へ移住した人々が、大和政権の成長や社会の発展に与えた影響として、最も適切な説明はどれですか。

(2026年 山形県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 遣隋使や遣唐使として大陸に派遣され、最新の政治制度を学んで帰国した後に律令国家の建設を主導した。 | 2. 須恵器の製作技術や漢字、仏教などを伝え、政権の組織づくりや文化の発展に大きく貢献した。 | 3. 稲作の技術を初めて日本に伝え、狩猟や採集を中心とした社会から定住社会への転換を促した。 | 4. 九州沿岸の警備にあたる防人として任命され、大陸からの侵攻を防ぐ軍事的な役割を専門に担った。 |
|---|--|--|--|

問5 5世紀後半の日本列島において、大和政権の支配力が関東地方から九州地方にまで広く及んでいたことを示す歴史的背景として、最も適切な説明を選びなさい。

(2019年 長崎県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 埼玉県の稲荷山古墳と熊本県の江田船山古墳から、同一の最高権力者である大王の名を刻んだ鉄剣・鉄刀が出土した。 | 2. 邪馬台国の女王である卑弥呼が魏から贈られた親魏倭王の称号を、地方の有力豪族に分け与えて統治した。 | 3. 聖徳太子が十七条の憲法を制定し、地方の豪族に対して大王への忠誠を誓わせる制度が全国に普及した。 | 4. 白村江の戦いでの敗北を機に、関東から九州にかけて山城や防人が配置され、軍事的な中央集権化が進んだ。 |
|--|---|--|--|

問6 日本最大級の規模を誇る前方後円墳である大仙古墳（大山古墳）が位置する場所として正しいものはどれですか。日本全国をいくつかの地域に分けた際、現在の大阪府堺市が含まれる地方の名称を選択しなさい。

(2024年 茨城県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 東北地方 | 2. 関東地方 | 3. 九州地方 | 4. 近畿地方 |
|---------|---------|---------|---------|

問7 ヤマト王権が巨大な前方後円墳を築き、その周囲に武装した人物の像などの埴輪を並べたり、鉄剣に首長の称号を刻んだりした歴史的な背景として、最も適切なものはどれですか。

(2015年 岡山県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 貴族による摂政・関白の政治を安定させるための儀式として行ったため | 2. 各地の豪族に対して、王権の強大な軍事力や政治的な支配力を示すため | 3. 仏教を全国に広めるために、寺院の代わりとして巨大な墓を建立したため | 4. 大陸から伝わった稲作の技術を記念し、収穫を祝う祭祀の場とするため |
|-------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|

問8 熊本県の江田船山古墳から出土した鉄刀と、埼玉県の稲荷山古墳から出土した鉄剣には、いずれも「ワカタケル大王」の名が刻まれていました。この事実から推測される、5世紀ごろの大和政権の勢力範囲に関する説明として、最も適切なものを選びなさい。

(2014年 和歌山県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 大和政権の勢力は、大陸の影響を強く受けていた九州地方のみに限定されていた。 | 2. 大和政権の勢力は、九州北部から関東地方南部におよぶ広い範囲に広がっていた。 | 3. 大和政権の勢力は、近畿地方とその周辺の非常に狭い範囲に限定されていた。 | 4. 大和政権の勢力は、東北地方から九州南部に至る日本列島のほぼ全域を支配していた。 |
|--|--|--|--|

問9 航空写真などの上空からの視点で見ると、前方部が方形（四角形）、後方部が円形をしており、全体として巨大な鍵穴のような形状をしている日本独自の古墳の名称として適切なものはどれか。

(2020年 佐賀県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------|-------|----------|--------|
| 1. 方墳 | 2. 円墳 | 3. 前方後円墳 | 4. 八角墳 |
|-------|-------|----------|--------|

問10 中国の歴史書である『宋書』倭国伝には、5世紀に倭の五王が中国へ使者を送ったことが記されています。この「五王」が朝貢（皇帝への貢ぎ物）を行った相手である、当時の中国の勢力を何と呼びますか。

(2024年 大阪府公立入試 類似)

- | | | | |
|-------|------|-------|------|
| 1. 北朝 | 2. 唐 | 3. 南朝 | 4. 隋 |
|-------|------|-------|------|

問11 5世紀頃、日本の王たちが中国の皇帝に使節を送った背景や目的として、最も適切な説明はどれですか。

(2017年 鳥取県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 仏教を日本に広めるために、中国から高僧を招くとともに、寺院建築や経典などの進んだ文化を公的に導入するため。 | 2. 遣唐使を廃止することで大陸との交流を制限し、日本独自の国風文化を育むとともに、律令国家の形成を早めるため。 | 3. 中国の皇帝から地位の承認を得ることで、朝鮮半島での軍事的な外交関係を有利に進めたり、高度な技術を導入して統治を強固にするため。 | 4. 後漢の皇帝から「漢委奴国王」と刻まれた金印を授かり、九州北部における小国の連合を束ねる権威を確立するため。 |
|--|--|--|--|

問12 埼玉県にある稲荷山古墳から出土した鉄剣には「獲加多支鹵大王」という称号が刻まれています。これと同様の称号が記された鉄刀が熊本県の江田船山古墳からも出土していることから推測できる、5世紀後半の日本の政治状況として最も適切な説明を選んでください。

(2021年 大阪府公立入試 類似)

- | | | | |
|--------------------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------|--|
| 1. 東北地方から九州地方まで、完全に統一された律令国家が成立していた。 | 2. 各地域の豪族が独自の王号を名乗り、中国の王朝と直接外交を行っていた。 | 3. 邪馬台国の卑弥呼による統治が、近畿地方を中心に安定していた。 | 4. 大和政権（ヤマト王権）の支配力が、関東から九州におよぶ広い範囲に広がっていた。 |
|--------------------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 女性の姿などをかたどった土偶が、魔よけや豊かな収穫を祈るために作られた。	土偶は縄文時代に作られたものであり、古墳時代のものではありません。古墳時代には、古墳の周囲に埴輪が立てられ、内部には副葬品として銅鏡や鉄剣などが納められました。
問2	答え 1 大和政権（ヤマト王権）の王が、自らの強大な権威や動員できる労働力の大きさを各地の豪族に誇示するため。	古墳時代において、巨大な前方後円墳を築くには膨大な年月と膨大な人数の労働力が必要でした。このような大規模な土木工事を行うことができた事実は、その被葬者が広範囲に及ぶ支配権と財力を持っていたことを象徴しています。また、前方後円墳という特定の形式が日本各地に広がったことは、大和政権（ヤマト王権）を中心とした政治的な連合や身分秩序が各地の豪族との間に形成されていたことを示しています。
問3	答え 4 ワカタケル大王の名が刻まれており、ヤマト政権の勢力が九州北部から関東地方まで及んでいたことがわかる。	埼玉県の稲荷山古墳と熊本県の江田船山古墳という、遠く離れた二つの地域から同一の王である「ワカタケル大王（雄略天皇）」の名を記した文字資料が出土したことは、当時の歴史を知る上で極めて重要です。この事実は、5世紀後半にはヤマト政権の政治的な支配力が、九州北部から関東地方にまで及ぶ広大なものになっていたことを裏付けています。この大王は、中国の歴史書『宋書』倭国伝に登場する「倭の五王」の一人である「武」と同一人物であると考えられています。
問4	答え 2 須恵器の製作技術や漢字、仏教などを伝え、政権の組織づくりや文化の発展に大きく貢献した。	移住した人々は、須恵器の製作、金属器の加工、養蚕、織物といった実用的な技術だけでなく、漢字や仏教、儒教といった学問や宗教も伝えました。これらの知識や技術は、大和政権が国内を統治するための公文書作成や、国家としての権威を高めるための寺院建築などに活用され、古代日本の国家形成において不可欠な役割を果たしました。なお、稲作の伝来は弥生時代、防人の制度は7世紀後半の白村江の戦い以降に本格化したものです。
問5	答え 1 埼玉県の稲荷山古墳と熊本県の江田船山古墳から、同一の最高権力者である大王の名を刻んだ鉄剣・鉄刀が出土した。	埼玉県の稲荷山古墳で出土した鉄剣には「獲加多支鹵大王（ワカタケルオオキミ）」という文字が刻まれていました。同様の銘文を持つ鉄刀が熊本県の江田船山古墳からも見つかったことから、5世紀後半には近畿地方の大和政権が、関東から九州に至るまでの広い範囲を勢力下に置いていたことが実証されています。
問6	答え 4 近畿地方	5世紀頃、現在の大阪府や奈良県などを含む近畿地方を中心に、巨大な前方後円墳が数多く造られました。大仙古墳は、当時の大和政権（ヤマト王権）の首長である大王の権力を象徴するものであり、現在の大阪府堺市に位置しています。
問7	答え 2 各地の豪族に対して、王権の強大な軍事力や政治的な支配力を示すため	古墳の巨大化や、武人などをかたどった埴輪の設置、そして「大王」という称号を刻んだ鉄剣を配ることは、ヤマト王権の優れた技術力や軍事的な権威を内外に示す目的がありました。これにより、各地の有力な豪族を自らの支配下に組み込み、連合政権としての基盤を固めていきました。
問8	答え 2 大和政権の勢力は、九州北部から関東地方南部におよぶ広い範囲に広がっていた。	九州（熊本県）と関東（埼玉県）という、当時の交通手段では非常に遠く離れた2つの地点から同じ大王の名を記した刀剣が出土したことは、大和政権の支配力がその両地域にまで及んでいたことを客観的に証明するものです。一方で、この時代の支配が東北地方にまで及んでいたことを示す証拠は見つかっていないため、範囲の特定には注意が必要です。
問9	答え 3 前方後円墳	3世紀後半から6世紀にかけて、ヤマト政権の勢力下にあった地域で築かれた日本独自の形式です。大阪府の大仙古墳（伝仁徳天皇陵）に代表されるように、大規模なものは当時の有力者の権力を象徴しています。
問10	答え 3 南朝	当時の中国は、南北に王朝が分かれて対立する「南北朝時代」にありました。倭の五王（讃・珍・済・興・武）は、そのうち南側の「宋」などの王朝、すなわち南朝に使者を送りました。北朝は主に華北を支配していた別の勢力であり、隋や唐はのちに中国を統一した、より新しい時代の王朝です。
問11	答え 3 中国の皇帝から地位の承認を得ることで、朝鮮半島での軍事的・外交関係を有利に進めたり、高度な技術を導入して統治を強固にするため。	5世紀の「倭の五王」は、中国の南朝へ繰り返し使節を派遣しました。当時の倭王は、朝鮮半島における軍事的な指揮権を含む称号を中国の皇帝から授かることで、国際的な地位を確立し、周辺諸国との外交を有利に進める狙いがありました。また、これに伴い鉄製武器の製造技術や須恵器などの新しい技術を大陸から導入し、国内の支配力を高めていきました。
問12	答え 4 大和政権（ヤマト王権）の支配力が、関東から九州におよぶ広い範囲に広がっていた。	遠く離れた埼玉県の稲荷山古墳と熊本県の江田船山古墳の両方から、同一の大王（ワカタケル大王）の名を記した遺物が出土したことは、その大王を中心とする大和政権の権威や支配力が、すでに関東から九州まで広範に及んでいたことを裏付ける有力な証拠となっています。

- 問1 古墳時代における渡来人の移動と技術伝来が、当時の日本列島の社会に与えた影響について述べた文章として、最も適切なものはどれですか。
(2025年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 青銅器と鉄器が同時に伝わり、金属器を使った道具の製造が初めて行われた。 | 2. 全国に国分寺や国分尼寺が建てられ、仏教を中心とした国家体制が完成した。 | 3. 大陸からの技術移転により、日本列島で初めて米作り（水稲耕作）が始まった。 | 4. 須恵器の製造技術や漢字・儒教などが伝わり、社会の技術や文化が大きく向上した。 |
|--|--|---|---|
- 問2 仏教が伝来し寺院が建立されるようになる以前の時代、各地の有力者が自らの権威を示すために築いた、土を高く盛り上げた巨大な墓を何といいますか。
(2022年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|---------|------|
| 1. 貝塚 | 2. 古墳 | 3. 環濠集落 | 4. 都 |
|-------|-------|---------|------|
- 問3 5世紀ごろに大和政権の政治的影響力が日本各地に及んだことを示す、近畿地方を起点に全国へ普及した円形と方形を組み合わせた形状の古墳を何と呼ぶか。
(2016年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------|-------|-------|
| 1. 前方後円墳 | 2. 装飾古墳 | 3. 円墳 | 4. 方墳 |
|----------|---------|-------|-------|
- 問4 古墳時代における渡来人の活動と、日本社会に与えた影響について述べた文として、正しいものはどれか選びなさい。
(2021年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 中国の優れた制度や文化を吸収するために日本から派遣され、小野妹子らがその代表である。 | 2. 朝鮮半島から移住し、漢字や仏教の伝来、須恵器などの陶質土器の製作技術を日本に伝えた。 | 3. 平安時代に地方の政治が乱れる中、自らの土地を守るために武装し、後の武士の源流となった。 | 4. 九州北部の防衛のために東国から派遣され、唐や新羅による侵攻に備えて沿岸を警備した。 |
|---|---|--|--|
- 問5 3世紀後半から6世紀にかけて、日本各地の有力な豪族の墓として築かれた古墳のうち、上空から見ると円形と方形（四角形）を組み合わせた鍵穴のような形をしている、日本独自の形式を何と呼びますか。
(2018年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-------|-------|---------|
| 1. 前方後円墳 | 2. 方墳 | 3. 円墳 | 4. 装飾古墳 |
|----------|-------|-------|---------|
- 問6 5世紀ごろ、現在の大阪府や奈良県を中心とした勢力であるヤマト王権が、九州から関東地方に至る広い範囲に影響力を及ぼしていたことが、各地の出土品から判明しています。埼玉県にある稲荷山古墳から出土した鉄剣には、当時のヤマト王権の首長を指すどのような称号が刻まれていますか。
(2015年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 執権 | 2. 將軍 | 3. 大王 | 4. 天皇 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問7 古代の日本と朝鮮半島の国々との関係について、百済が大和政権に与えた影響を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。
(2020年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|--|---------------------------------------|--|
| 1. 大和政権と結びつき、仏教や儒教などの大陸文化を伝える窓口となった | 2. 大和政権に対して、魏志倭人伝に記されたような金印を授与して冊封関係を結んだ | 3. 唐と結んで、朝鮮半島を初めて統一するための軍事的な支援を日本に求めた | 4. 日本に鉄資源を供給することを主な目的として、九州北部に軍事拠点を置いた |
|-------------------------------------|--|---------------------------------------|--|
- 問8 5世紀後半、現在の埼玉県にある稲荷山古墳と熊本県にある江田船山古墳から、金象嵌（きんぞうがん）で文字が刻まれた鉄剣や鉄刀が出土しました。これらの出土品に共通して刻まれていた人物の名と、そこから推測される当時のヤマト政権（大和政権）の状況として適切なものはどれですか。
(2020年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 中大兄皇子の名が刻まれており、律令に基づいた地方支配が関東や九州まで及んでいたことがわかる。 | 2. ワカタケル大王の名が刻まれており、ヤマト政権の勢力が九州北部から関東地方まで及んでいたことがわかる。 | 3. 卑弥呼の名が刻まれており、邪馬台国の勢力が西日本から東日本一帯に広がっていたことがわかる。 | 4. 聖徳太子の名が刻まれており、天皇を中心とした中央集権体制が全国で完成していたことがわかる。 |
|---|---|--|--|
- 問9 3世紀ごろの中国大陸では、複数の勢力が対立して覇権を争っていました。この時期、日本の邪馬台国の女王である卑弥呼が使いを送り、「親魏倭王」の称号を授かったとされる国が含まれる時代の名称を選びなさい。
(2016年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|---------|---------|----------|
| 1. 五代十国時代 | 2. 三国時代 | 3. 戦国時代 | 4. 南北朝時代 |
|-----------|---------|---------|----------|
- 問10 古墳時代の文化において、古墳の頂上や周囲を囲むように並べられた、円筒の形や人間、家などの形を模した土製の焼き物を何といいいますか。
(2024年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|--------|-------|-------|
| 1. 埴輪 | 2. 須恵器 | 3. 土偶 | 4. 銅鐸 |
|-------|--------|-------|-------|
- 問11 5世紀の日本において、埼玉県稲荷山古墳や熊本県江田船山古墳から出土した鉄剣・鉄刀に銘文として刻まれていた大王の名として正しいものを、次の選択肢の中から1つ選びなさい。
(2025年 宮崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|----------|--------|---------|
| 1. ワカタケル大王 | 2. 中大兄皇子 | 3. 卑弥呼 | 4. 聖徳太子 |
|------------|----------|--------|---------|
- 問12 5世紀の倭の王が、中国の歴史書である『宋書』倭国伝において「高句麗が道をふさぎ、邪魔をしています」と皇帝に訴え、「安東大將軍」などの高い称号を得ようとした主な目的として最も適切なものはどれですか。
(2025年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 中国の律令制度を導入し、氏姓制度を廃止して国内の中央集権化を進めるため | 2. 中国から金銅の仏像を輸入し、日本国内に仏教を広めるための権威を得るため | 3. 朝鮮半島における軍事的な指揮権を中国の皇帝に認めさせ、国際的な優位に立つため | 4. 朝鮮半島南部から鉄資源を安定的に輸入するための、独占的な貿易許可を得るため |
|--|--|---|--|
- 問13 古墳時代の日本列島では、海外から高度な技術や文化を持つ人々が移り住み、社会の発展に大きな影響を与えました。高温で焼く硬い灰色の土器である「須恵器」の技術を日本に伝えた、朝鮮半島などから移住してきた人々を何と呼びますか。
(2018年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------|--------|-------|
| 1. 遣隋使 | 2. 地頭 | 3. 渡来人 | 4. 防人 |
|--------|-------|--------|-------|
- 問14 古墳時代において、近畿地方から始まったとされる前方後円墳が、後に徳島県や香川県など近畿以外の地域でも築かれるようになりました。この「前方後円墳」が普及した主な要因として、当時の政治体制の仕組みから説明したものとして適切なものはどれですか。
(2023年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---------------------------------------|--|---|
| 1. 地方の豪族が大和政権に対抗するために、あえて近畿とは異なる独自の形式の古墳を築いたため | 2. 班田収授法によって、全国の農民が等しく古墳を築く権利を認められたため | 3. 大和政権と結びついた地方の豪族が、自らの地位や権威を示すために共通の形式で墓造ったため | 4. 大和政権が全国に国司を派遣し、地方の文化をすべて近畿のものに統一する政策をとったため |
|--|---------------------------------------|--|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 須恵器の製造技術や漢字・儒教などが伝わり、社会の技術や文化が大きく向上した。	古墳時代に朝鮮半島から渡来人が移住したことで、須恵器の製造技術に加えて漢字、儒教、仏教、機織などの高度な文化や技術が伝わり、日本の技術や生活文化が飛躍的に発展しました。
問2	答え 2 古墳	古墳時代、各地の有力者（豪族）は土を高く盛り上げた巨大な「古墳」を築くことで、その勢力を誇示しました。しかし、飛鳥時代に仏教が伝来して寺院が建立されるようになると、有力者の権威を象徴する対象は古墳から寺院へと変化し、巨大な古墳は次第に造られなくなっていました。
問3	答え 1 前方後円墳	前方後円墳は、円形と方形を連結させた日本独自の形状を持つ古墳です。5世紀にはその築造が最盛期を迎え、近畿地方から離れた地域でもこの形式が採用されたことは、各地の豪族が大和政権の支配体系に組み込まれていった過程を物語っています。
問4	答え 2 朝鮮半島から移住し、漢字や仏教の伝来、須恵器などの陶質土器の製作技術を日本に伝えた。	当時の日本にはなかった高度な知識や技術を持っていた人々に関する記述です。彼らが伝えた「須恵器」は、従来の土師器よりも高温で焼かれた硬い陶質土器であり、生活様式の変化をもたらしました。また、文字（漢字）の導入により、行政や外交などの記録が可能になり、大和政権の組織化が促進されました。
問5	答え 1 前方後円墳	3世紀後半の大和地方を中心に現れたこの形式は、円形の後円部と方形の前方部が合体した形状が特徴です。資料などで全長100mを超えるような大規模な古墳として紹介されるものの多くはこの形式であり、当時の王や有力な豪族の権威を象徴するものでした。
問6	答え 3 大王	5世紀後半のヤマト王権（大和朝廷）の首長は「大王（おおきみ）」と呼ばれていました。埼玉県の稲荷山古墳や熊本県の江田船山古墳から出土した鉄剣・鉄刀には、「ワカタケル大王」などの銘文が刻まれており、近畿地方を中心とするヤマト王権の支配が、既に関東から九州まで及んでいたことを示す重要な歴史的証拠となっています。
問7	答え 1 大和政権と結びつき、仏教や儒教などの大陸文化を伝える窓口となった	百済は朝鮮半島における軍事的緊張の中で大和政権と結びつき、その見返りとして先進的な技術や文化を日本へ伝えました。特に6世紀の聖明王による仏教の伝来は、その後の飛鳥文化の発展につながる歴史的な転換点となりました。他の選択肢にある半島統一は新羅の役割であり、金印の授与は中国の王朝との関係です。
問8	答え 2 ワカタケル大王の名が刻まれており、ヤマト政権の勢力が九州北部から関東地方まで及んでいたことがわかる。	埼玉県の稲荷山古墳と熊本県の江田船山古墳という、遠く離れた二つの地域から同一の王である「ワカタケル大王（雄略天皇）」の名を記した文字資料が出土したことは、当時の歴史を知る上で極めて重要です。この事実は、5世紀後半にはヤマト政権の政治的な支配力が、九州北部から関東地方にまで及ぶ広大なものになっていたことを裏付けています。この大王は、中国の歴史書『宋書』倭国伝に登場する「倭の五王」の一人である「武」と同一人物であると考えられています。
問9	答え 2 三国時代	3世紀の中国大陸では、魏、呉、蜀の三つの国が並び立ち、互いに勢力を争っていました。この時期を三国時代と呼び、日本の邪馬台国の女王・卑弥呼は、その中の一つである「魏」に使いを送り、金印や銅鏡を授かることで自らの権威を高めようとしていました。
問10	答え 1 埴輪	古墳の周囲や墳丘の上に立て並べられた焼き物を埴輪と呼びます。縄文時代に魔除けや豊かな収穫を祈って作られた「土偶」と混同されやすいですが、埴輪は古墳時代特有のものです。初期は円筒形が中心でしたが、次第に家、盾、人物、動物などの形をしたものが作られるようになりました。
問11	答え 1 ワカタケル大王	埼玉県の稲荷山古墳や熊本県の江田船山古墳からは、「ワカタケル大王（獲加多支鹵大王）」の名が刻まれた鉄剣や鉄刀が出土しました。これにより、5世紀後半にはヤマト王権の支配が関東から九州におよんでいたことがわかります。
問12	答え 3 朝鮮半島における軍事的な指揮権を中国の皇帝に認めさせ、国際的な優位に立つため	5世紀、いわゆる「倭の五王」は中国の南朝（宋など）に使者を送り、皇帝から「將軍号」などの称号を授けられました。これは国内での支配権を固めるだけでなく、当時対立していた高句麗に対抗するため、朝鮮半島における軍事的な指揮権を国際的に認めさせ、外交上の軍事的優位を確保する狙いがありました。
問13	答え 3 渡来人	朝鮮半島や大陸から日本列島へ移り住んだ渡来人は、須恵器の製作技術のほか、鉄器の加工、養蚕、織物、漢字や儒教といった高度な技術や文化を伝えました。これらの技術はヤマト政権の勢力拡大や、当時の有力豪族の経済力の向上に大きく貢献しました。
問14	答え 3 大和政権と結びついた地方の豪族が、自らの地位や権威を示すために共通の形式で墓を造ったため	前方後円墳の広まりは、大和政権を中心とした政治的な秩序が形成されていたことを裏付けています。地方の豪族は大和政権から認められることで自らの支配権を正当化し、その象徴として大和政権の王と同じ形式の古墳を築きました。班田収授法や国司の派遣は、後の律令時代の制度であり、古墳時代の大和政権による統治体制とは異なります。

- 問1 大阪府の百舌鳥・古市古墳群に含まれる、三重の濠が巡らされた日本最大の前方後円墳の名称と、それが登録されているユネスコの区分の組み合わせとして正しいものを次から選びなさい。 (2020年 群馬県公立入試 類似)
1. 大仙古墳 (世界文化遺産) 2. 大仙古墳 (世界自然遺産) 3. 五色塚古墳 (世界文化遺産) 4. 箸墓古墳 (世界文化遺産)
- 問2 千葉県最大級の前方後円墳である内裏塚古墳が築造された古墳時代の中期には、大陸との交流を通じて新しい製作技術が導入されました。この時期に生産が始まった「須恵器」の特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
1. 弥生土器の流れを汲み、野焼きによって比較的低温で焼かれた赤褐色の土器 2. 表面に魔除けの意味を持つ縄目の文様をつけた、厚手で黒褐色の土器 3. 山の斜面などに作られた窯を使い、高温で蒸し焼きにした灰色の土器 4. 青銅を原料として鋳造され、祭祀の道具として用いられた釣鐘型の道具
- 問3 5世紀頃、大和政権は近畿地方から遠く離れた地域まで勢力を拡大しました。各地の有力者の墓（古墳）から、当時の王の名称が刻まれた鉄剣や鉄刀が発見されている事実は、当時の政治体制についてどのようなことを示していますか。その説明として最も適切なものを選びなさい。 (2017年 愛知県公立入試 類似)
1. 地方の有力者が、大和政権を介さず独自に大陸と外交を行っていたこと 2. 征夷大將軍が派遣され、東北地方まで完全に平定されたこと 3. 仏教の伝来によって、全国の有力者が同じ信仰を持つようになったこと 4. 大和政権の権力が、九州から関東に及ぶ広い地域の有力者に及んでいたこと
- 問4 4世紀から7世紀頃にかけて朝鮮半島や中国大陸から日本列島へ移住した人々は、それまでの土器とは異なる、黒っぽくて硬い「須恵器」の製作技術や、文字としての「漢字」などを伝えました。このような人々を何と呼びますか。 (2026年 山形県公立入試 類似)
1. 弥生人 2. 縄文人 3. 渡来人 4. 防人
- 問5 古墳時代中期（5世紀後半）におけるヤマト政権（大和政権）の勢力圏の広がりの説明する記述として、最も正しいものはどれですか。 (2020年 和歌山県公立入試 類似)
1. 近畿地方を中心に巨大な前方後円墳が作られ始めたことから、この時期にはすでに東北地方まで完全に統一されていたと判断できる。 2. 『魏志』倭人伝に記された女王の朝貢記録により、中国から認められた政権が全国の地方豪族完全に服従させていたことがわかる。 3. 仏教を政治に取り入れた聖徳太子が、全国に国分寺を建てることで、九州から関東までの地方組織を直接支配していたことがわかる。 4. 関東地方の稲荷山古墳と九州地方の江田船山古墳から出土した鉄剣・鉄刀に共通の王の名が見られることから、支配が九州から関東まで及んでいたと判断できる。
- 問6 古墳時代、朝鮮半島や中国から日本列島へ移り住んだ渡来人によって伝えられたもので、日本における記録や公文書作成の基礎となった文字を次の中から選びなさい。 (2019年 岡山県公立入試 類似)
1. カタカナ 2. ローマ字 3. ひらがな 4. 漢字
- 問7 5世紀に「倭の五王」が中国の南朝へ繰り返し使者を送り、朝貢を行った背景や目的についての説明として、最も適切なものを選択してください。 (2024年 三重県公立入試 類似)
1. 白村江の戦いでの敗北を受け、唐や新羅による日本侵攻を防ぐために、中国との友好関係を急いで構築する必要があったため。 2. 中国の皇帝から称号を授かることで、国内の豪族に対する統治の正当性を高め、朝鮮半島南部における軍事的な立場を有利にするため。 3. 日本独自の元号を定めるにあたり、中国の皇帝から許可を得ることで、東アジアにおける地位を確立しようとしたため。 4. 冠位十二階や憲法十七条などの新しい制度を導入するため、先進的な政治体制を直接学ぶ官僚を派遣する必要があったため。
- 問8 古墳時代の展示において、当時の有力者の墓である古墳の内部に納められた「副葬品」が紹介されています。これらの中で、被葬者の権力や権威を示すとともに、当時の中国大陸との活発な交流を裏付ける代表的な資料として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 富山県公立入試 類似)
1. 弥生時代に主に近畿地方を中心に広まり、祭祀の道具として使われた青銅器の銅鐸 2. 古墳の墳丘の頂上や周囲に並べられ、聖域を区切る役割を持っていた人や馬の形の埴輪 3. 大陸との外交関係や支配者の権威を示すために墓に納められた、三角縁神獣鏡などの銅鏡 4. 魔除けや豊かな収穫を祈る儀式に用いられた、縄文時代の土製の人形である土偶
- 問9 4世紀から7世紀頃にかけて、朝鮮半島から日本列島へ移り住み、大陸の高度な技術や文化を伝えた人々を何と呼びますか。 (2021年 和歌山県公立入試 類似)
1. 渡来人 2. 防人 3. 遣隋使 4. 御家人
- 問10 5世紀から6世紀にかけて、日本列島には大陸から多くの人々が移り住みました。この時期の遺跡である前方後円墳などからは、円筒埴輪や人物埴輪とともに、高温の窯で焼かれた硬くて灰色をした土器が出土しています。この土器の製作技術を日本に伝え、さらに文字や儒教、仏教といった高度な文化をもたらした人々を何と呼びますか。 (2015年 千葉県公立入試 類似)
1. 遣隋使 2. 防人 3. 渡来人 4. 語部
- 問11 古墳時代における渡来人の活動と、日本社会に与えた影響について述べた文として、正しいものはどれか選びなさい。 (2021年 和歌山県公立入試 類似)
1. 朝鮮半島から移住し、漢字や仏教の伝来、須恵器などの陶質土器の製作技術を日本に伝えた。 2. 九州北部の防衛のために東国から派遣され、唐や新羅による侵攻に備えて沿岸を警備した。 3. 中国の優れた制度や文化を吸収するために日本から派遣され、小野妹子らがその代表である。 4. 平安時代に地方の政治が乱れる中、自らの土地を守るために武装し、後の武士の源流となった。
- 問12 5世紀、ヤマト王権の「倭の五王」は中国の南朝（宋など）に繰り返し使者を送りました。中国側の歴史書『宋書』倭国伝に記されている、彼らが朝貢を通じて中国皇帝に認めてもらおうとした地位や権限とはどのようなものですか。 (2025年 沖縄県公立入試 類似)
1. 鎖国体制を維持するために、他国との国交を断絶する公式な許可 2. 日本国内の支配権に加え、朝鮮半島南部における軍事的な指揮権 3. 明との間で勘合を用いた貿易を行うための独占的な権利 4. 遣隋使の派遣を永続的に免除される特権
- 問13 大和政権（ヤマト王権）において、朝鮮半島から移り住んだ人々の知識や能力が、政権の運営にどのように活かされたか。当時の記録や実務に関する説明として、最も適切なものを選びなさい。 (2024年 熊本県公立入試 類似)
1. 独自の文字を開発することで、それまで口伝のみであった日本の神話を初めて文字で記録した。 2. 将軍から土地の支配権を認められる代わりに、軍役や番役を果たす主従関係の基盤となった。 3. 九州北部の沿岸部で、唐や新羅などの外国勢力の侵攻を監視・防御する軍事的な役割に特化した。 4. 文字の読み書きや計算の能力を活かし、公文書の作成や財政管理といった行政実務を担った。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 大仙古墳（世界文化遺産）	5世紀の古墳時代中期に築造された大仙古墳は、全長約486メートルを誇る日本最大の古墳です。その圧倒的な規模と独特な形状は、当時のヤマト政権の強力な支配力を示すものと考えられています。2019年には、周辺古墳とともに「百舌鳥・古市古墳群」としてユネスコの世界文化遺産に登録されました。
問2	答え 3 山の斜面などに作られた窯を使い、高温で蒸し焼きにした灰色の土器	須恵器は、朝鮮半島から伝わった「穴窯（あながま）」という設備を使い、酸素が少ない状態で高温調理（蒸し焼き）にするため、特有の灰色になります。これに対し、同時に使われていた土師器（はじき）は、古墳時代以前からの伝統的な手法である「野焼き」で作られていたため、赤褐色をしています。
問3	答え 4 大和政権の権力が、九州から関東に及ぶ広い地域の有力者に及んでいたこと	大和政権は、軍事力や外交力を背景に地方の首長たちと主従関係を結び、自身の統治体制に組み込んでいきました。有力者の墓から出土した銘文入りの鉄剣などは、地方首長が大和政権に従う代わりに、その土地の支配権を保証されたという政治的な結びつきを証明するものです。これにより、当時の日本列島において広域的な政治連合が形成されていたことがわかります。
問4	答え 3 渡来人	4世紀から7世紀にかけて、大陸の戦乱を避けるなどの理由で日本列島に移り住んだ人々は、当時の日本にはなかった高度な技術や文化を伝えました。彼らが伝えた須恵器は、高温で焼くことができる穴窯（あながま）の技術を用いたもので、それまでの赤褐色の土器よりも硬い性質を持っていました。また、漢字の伝来は、その後の大和政権による記録や行政の仕組みを支える基盤となりました。
問5	答え 4 関東地方の稲荷山古墳と九州地方の江田船山古墳から出土した鉄剣・鉄刀に共通の王の名が見られることから、支配が九州から関東まで及んでいたと判断できる。	ヤマト政権の支配範囲が拡大したことを示す考古学的な証拠は、文字が刻まれた金属器の出土です。埼玉県の稲荷山古墳から出土した金錯銘鉄剣（きんさくめいてっけん）と、熊本県の江田船山古墳から出土した銀象嵌銘大刀（ぎんぞうがんめいたち）には、ともに「ワカタケル大王」という名が刻まれていました。これは、地方の有力者がヤマト政権の大王に仕えていたことを示しており、当時の政権の勢力が九州から関東まで及んでいた確かな根拠となります。
問6	答え 4 漢字	古墳時代に大陸の進んだ技術や文化を持った人々（渡来人）が日本列島へ移住した際、儒教や仏教とともに伝えられたのが漢字です。これにより、それまで文字を持たなかった日本において、出来事の記録や政治的な文書の作成が可能となりました。ひらがなやカタカナは、後にこの漢字を崩したり、一部を取ったりすることで日本独自の文字として発展したものです。
問7	答え 2 中国の皇帝から称号を授かることで、国内の豪族に対する統治の正当性を高め、朝鮮半島南部における軍事的な立場を有利にするため。	ヤマト王権の王たちは、中国の皇帝から「安東大將軍」などの高い称号を得ることで、日本国内における絶対的な権威を確立しようとしました。また、当時の朝鮮半島では高句麗や新羅、百済が対立しており、その中での軍事的な優位性を国際的に承認させる狙いもありました。
問8	答え 3 大陸との外交関係や支配者の権威を示すために墓に納められた、三角縁神獣鏡などの銅鏡	古墳時代、古墳に葬られた有力者は自らの権力を示すために、大陸由来の貴重な品々を副葬品として墓の中に納めました。特に三角縁神獣鏡などの銅鏡は、中国の王朝とのつながりや、それ入手できる大和政権との政治的な結びつきを示す重要な象徴でした。埴輪は古墳の表面や周囲に立て並べられるものであり、内部に埋葬される副葬品とは区別して理解する必要があります。
問9	答え 1 渡来人	朝鮮半島での戦乱などを背景に、4世紀から7世紀頃にかけて日本列島へ移住した人々です。彼らは大和政権（ヤマト王権）に仕え、漢字、儒教、仏教のほか、須恵器の製作技術や土木、養蚕、機織りなどの高度な技術を伝え、古代日本の国家形成に大きな影響を与えました。
問10	答え 3 渡来人	5世紀から6世紀の古墳時代、朝鮮半島からの移住者である渡来人は、それまでの日本になかった高度な技術や文化を伝えました。土器においては、従来の土師器（はじき）とは異なる、穴窯を用いて1000度以上の高温で焼成する「須恵器（すえき）」の技術をもたらしました。また、漢字を用いた記録や、道徳的な教えである儒教、さらには6世紀に百済から伝えられた仏教など、その後の日本の国家形成に不可欠な知識を普及させました。
問11	答え 1 朝鮮半島から移住し、漢字や仏教の伝来、須恵器などの陶質土器の製作技術を日本に伝えた。	当時の日本にはなかった高度な知識や技術を持っていた人々に関する記述です。彼らが伝えた「須恵器」は、従来の土師器よりも高温で焼かれた硬い陶質土器であり、生活様式の変化をもたらしました。また、文字（漢字）の導入により、行政や外交などの記録が可能になり、大和政権の組織化が促進されました。
問12	答え 2 日本国内の支配権に加え、朝鮮半島南部における軍事的な指揮権	5世紀になると、ヤマト王権の王たちは「倭の五王（讃・珍・済・興・武）」として中国の南朝に朝貢しました。彼らの主な目的は、日本国内の統一的な支配権を国際的に認めさせることでなく、当時進出を図っていた朝鮮半島南部における外交・軍事的な優位性を確保し、その立場を中国皇帝に正当化してもらうことにありました。
問13	答え 4 文字の読み書きや計算の能力を活かし、公文書の作成や財政管理といった行政実務を担った。	渡来人は優れた技術者であるだけでなく、文字や計算に精通した知識人でもありました。大和政権は、彼らを「史（ふひと）」として起用し、記録の作成や、貢物（税）の管理などの高度な事務・財政実務を担当させることで、政権の統治機構を強化しました。これに対し、防人は主に東国から徴収された兵士が九州の警備にあたった制度であり、御家人は鎌倉時代の武士を指すため、時代や役割が異なります。